

第5回「祖父母と高齢者のための世界祈願日の祈り」(2025年7月27日)

(日本では2025年9月14日*)

「希望を失うことのない人は、幸い。」(シラ 14・2)

主よ、あなたのこのことばはなんと美しいでしょう。
わたしたちが、あなたによってもたらされる希望に励まされ、
時を越えて巡礼の旅を続けることができますように。
この分裂した世界の中で、
一致の希望をもたらすことができますように。
戦争によって傷ついたこの世界の中で、
平和の希望をもたらすことができますように。
人間の尊厳が失われつつあるこの世界の中で、
いにしえの美しいほほえみをもたらすことができますように。
わたしたちの孫、愛する人、
そして会うすべての人にとって、
あなたの優しさを思い起こさせることができますように。
あなたから目をそらしたこの世界の中で、
あなただけが授けることのできる、
新たないのちの希望をもたらすことができますように

主よ、あなたにおいて、失われるものは何ひとつありません。
主よ、あなたにおいて、すべてが新たに始まるからです。アーメン。

(2025年8月12日 日本カトリック司教協議会常任司教委員会認可)

*2023年7月の第1回臨時司教総会で、日本では9月の「敬老の日」の前日に移動することが承認されました。